

【広島市消費者物価指数】

1 平成24年6月の動向

- 広島市総合指数（99.7）は前月比で3か月連続の下落。前年同月比は下落。
- 生鮮食品を除く総合指数（99.8）は前月比で2か月連続の下落。前年同月比は2か月連続の下落。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（99.1）は前月比で2か月連続の下落。前年同月比は10か月連続の下落。

2 総合指数，生鮮食品を除く総合指数，食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	99.7	▲0.5	▲0.5
生鮮食品を除く総合指数	99.8	▲0.5	▲0.4
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	99.1	▲0.4	▲0.4

3 前月からの動き

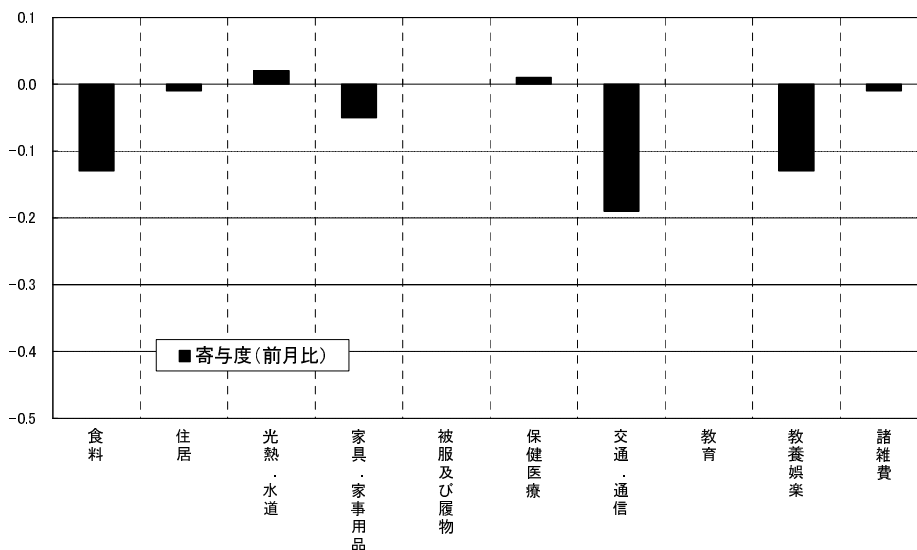
～光熱・水道は上昇，食料，交通・通信，教養娯楽は下落。～

(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	99.7	98.9	99.1	105.8	98.4	101.9	99.4	100.4	98.4	95.9	103.0
前月比 (%)	▲0.5	▲0.5	▲0.1	0.3	▲1.3	0.0	0.2	▲1.4	0.0	▲1.2	▲0.2
寄与度	▲0.5	▲0.13	▲0.01	0.02	▲0.05	0.00	0.01	▲0.19	0.00	▲0.13	▲0.01

(参考) 主な要因となっている10大費目について，寄与の大きかった中分類項目
 光熱・水道：電 気 代（前月比 0.6%，寄与度 0.02）等
 交通・通信：自動車等関係費（前月比 ▲2.2%，寄与度 ▲0.16）等

図1 10大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に，各費目がどれだけ影響したかを示したものの，本来，寄与度の合計は，総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが，四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目（寄与度順）

上 昇		下 落	
項 目（主な品目名）	前月比	項 目（主な品目名）	前月比
魚介類（えび 等）	2.6%	自動車等関係費（ガソリン 等）	▲2.2%
電気代（電気代 等）	0.6%	教養娯楽用耐久財（テレビ 等）	▲5.6%
家事用消耗品（トイレットペーパー 等）	1.0%	野菜・海藻（キャベツ 等）	▲3.2%
履物類（男子靴 等）	3.0%	家庭用耐久財（電子レンジ 等）	▲3.7%
油脂・調味料（風味調味料 等）	0.9%	肉類（牛肉[国産] 等）	▲1.3%

4 前年同月からの動き

～光熱・水道が上昇し、食料が大きく下落。～

(1) 10大費目の動き

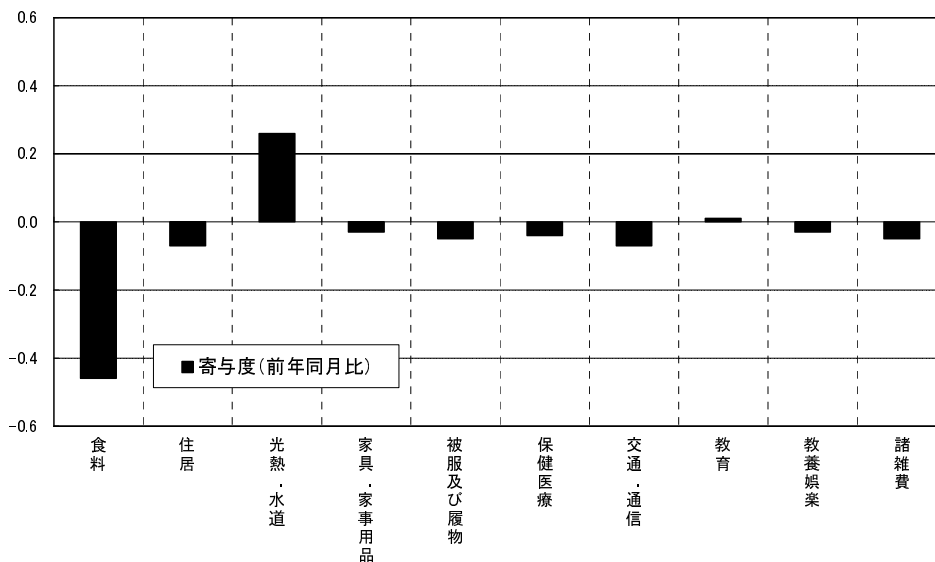
	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	▲ 0.5	▲ 1.8	▲ 0.3	3.4	▲ 0.8	▲ 1.2	▲ 0.9	▲ 0.5	0.2	▲ 0.2	▲ 0.8
寄与度	▲ 0.5	▲ 0.46	▲ 0.07	0.26	▲ 0.03	▲ 0.05	▲ 0.04	▲ 0.07	0.01	▲ 0.03	▲ 0.05

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

光熱・水道：電 気 代（前年同月比 4.7%，寄与度 0.17）等

食 料：野菜・海藻（前年同月比 ▲6.9%，寄与度 ▲0.19）等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目（寄与度順）

上 昇		下 落	
費 目（主な品目名）	前年同月比	費 目（主な品目名）	前年同月比
電気代（電気代 等）	4.7%	野菜・海藻（じゃがいも 等）	▲6.9%
ガス代（都市ガス代 等）	4.1%	家賃（持家の帰属家賃 等）	▲0.5%
穀類（うるち米 等）	2.8%	肉類（牛肉[国産] 等）	▲3.4%
寝具類（布団 等）	12.6%	通信（携帯電話機 等）	▲1.8%
家事雑貨（マット 等）	1.7%	調理食品（すし[弁当] 等）	▲1.8%